

稲垣栄洋

Hidehiro Inagaki

三上 修 画

Osamu Mikami

身近な雑草の
愉快な生きかた



ちくま文庫



稲垣栄洋 (いながき・ひでひろ)

1968年静岡市生まれ。岡山大学大学院農学研究科修了。農学博士。専攻は雑草生態学。農林水産省、静岡県農林技術研究所等を経て、現在静岡大学大学院教授。著書に『身近な雑草の愉快的生きかた』『身近な野菜のなるほど観察録』『身近な虫たちの華麗な生きかた』(以上ちくま文庫)、『蝶々はなぜ菜の葉にとまるのか』(角川ソフィア文庫)ほか多数。

三上修 (みかみ・おさむ)

1954年横浜市生まれ。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。自然科学全般のイラストを得意とする。2012年1月逝去。

プロローグ——雑草たちの世界へようこそ

逆境の時代である。

「雑草のように強く生きろ」、そんな人生訓もよく耳にするようになった。

踏まれても踏まれても立ち上がる雑草。抜いても抜いても生えてくる雑草。そんな雑草の姿に人々は「強さ」を感じる。しかし実際には、雑草はどのような「生き方」をしているのだろうか。

強いと思われがちな雑草だが、意外なことに本来は決して強い植物ではない。それどころか、むしろ弱い植物であるとさえいわれているくらいなのだ。

弱いはずの彼らが力強く生きている秘密、そのキーワードが「逆境」である。

雑草たちが暮らす環境は、ただ菌を食いしばって頑張るだけで生き抜けるほど甘くはない。踏まれたり、蹴られたり、抜かれたり、刈られたり、さまざまな困難がつぎつぎと彼らに降りかかるのである。それでも雑草は、根を下ろした場所から逃げ出すことができない。そこがどんなに厳しい環境であっても、その場所で生涯を終えるしかないの

である。

そんな宿命を背負って、開き直ったのかどうかはわからないが、雑草は逃げることなく困難な環境と向き合い、逆境を受け入れる道を選んだ。そしてついには、逆境のなかで強く生きる術を身につけたのである。

前書『雑草の成功戦略』（NTT出版）では、雑草の基本的な生存戦略を紹介しながら、逆境を味方にするのが雑草の成功に共通のセオリーであるとお話しました。

しかし、何事もそうだが、いざ実践してみるとセオリーどおりにいかないのが世の常である。個々の雑草が実際にはどうやって逆境を味方につけているのか、少し気になるところではある。そもそも、私たち一人一人の生き方が違うように、「雑草の生き方」と一口にいても実にさまざまである。種類や環境が異なれば、その生活ぶりはまったく違ったものになるのだ。

「名もなき草」とひとくくりにされることの多い雑草だが、一つ一つの生き方は、実に個性的でユニークである。植物学というと、何か難しい勉強科目のようで無味乾燥なものに感じられるかもしれない。しかし、彼らの生きる姿は、本当は実にいきいきとしている。そして、生命の躍動にあふれた雑草の生き方はどれもが輝きに満ちているのだ。

そこで、好奇心にまかせて、雑草たちの生き方と暮らしぶりをのぞきみようとしたの

がこの本である。私たちの身近な雑草たちのなかから個性豊かな五十種を取り上げて、逆境に生きる彼らの知恵と工夫の数々を紹介したいと思う。

大いなる野望を抱いていたり、試行錯誤の失敗を繰り返したり。切なく、ほろ苦い彼らの懸命な生活ぶりに大いに共感する方もいるだろう。苦し紛れにも見える秘策は皆さんの失笑を誘うことさえあるかもしれない。しかし、逆境に立ち向かい続けるしたたかであくましい彼らの生き方は、私たちをまちがいに驚愕させることだろう。そして、雑草たちのドラマは、今まさに逆境に立ち向かっている方々にとって力強い応援歌となってくれるはずである。逆境によって強くなれるのは、決して雑草ばかりではないのだ。昔ばなしのなかに登場する「聞き耳頭巾」という頭巾がある。これをかぶると鳥や獣の話すことがわかるようになるという代物だ。この本をお読みいただくあなたは、きつと雑草の世界を感じる「聞き耳頭巾」を手に入れることになるだろう。

さあ、それではさっそく、足もとに広がる雑草たちの世界をご案内することにしよう。気づかれないように、そーっと。

目次

- プロローグ 雑草たちの世界へようこそ 3
- スマイレ——野に咲く花のシテイライフ 12
- オオイヌノフグリ——キリストの奇跡が結実した後は？ 17
- ハコベ——七草ハコベの七つの秘密 21
- ホトケノザ——口から生まれた世渡り上手 26
- スズメノテツポウ——異能集団は逆境に強い 30
- カラスノエンドウ——ビジネスライクが引き起こしたしっぺ返し 35
- スギナ——地獄の底からよみがえった雑草 40
- ナズナ——だらだらと生き残れ 45
- タンポポ——ついに勃発したクローン戦争 50
- ハルシオン——移住者の数奇な運命 55
- オドリコソウ——芸を盗んだ踊り子の誤算 59

- シロツメクサ——幸せは踏まれて育つ 63
- スズメノカタビラ——国際派雑草の成功の秘訣 68
- コオニユリ——ユリの花の見えない苦勞 72
- オオバコ——この道一筋、踏まれて生きる 78
- カタバミ——花ことばは「輝く心」の儉約型雑草 83
- ネジバナ——ひねくれもののねじれた戦略 87
- スベリヒユ——すべっても祝うよっぱらい草 91
- ハマスゲ——アスファルトを突き破る底力 97
- コニシキソウ——地べたを満喫する生き方 102
- ツユクサ——サッカーチーム顔負けのフォーメーション 107
- メヒシバ——雑草の女王は記念日がお好き 112
- カラスビシヤク——これが「へそくり」の生活術 118
- タイヌビエ——効果的に身を隠す方法とは 122
- ウキクサ——浮き沈みのある浮き草稼業 126
- ヒルガオ——アサガオだけには負けたくない 131

- カモガヤ——都会をいろどる牧場の緑 136
- カラスムギ——東京—大阪間を結ぶど根性 142
- エノコログサ——逆輸入されたターボエンジン 146
- オオブタクサ——ミクロもマクロも自由自在 151
- イチビ——地球をまわってジパングを目指せ 156
- マツヨイグサ——待つ身のせつなさ、たくましさ 161
- クス——もう「くず」とは呼ばせない 165
- ヨモギ——乾いた街をドライに生き抜く 170
- ハキダメギク——潜んだ場所がまずかった 174
- カヤツリグサ——不思議なトライアングルの欠点 178
- ヒシ——ひしゃげた実よ、大志を抱け 182
- ヘクソカズラ——止むに止まれぬ乙女の選択 187
- ヒメムカシヨモギ——自然界の偉大な数学者 191
- オナモミ——ひつつき虫からのメッセージ 196
- マンジュシャゲ——死人花に隠された謎 200

ネナシカズラ——ああ、あこがれのパラサイト生活 207

ミズアオイ——雑草が絶滅する日 211

ホテイアオイ——百万ドルの雑草の願い 216

イヌタデ——赤いまんまは偽りだらけ 220

ススキ——稲より気高いプライド高き雑草 224

セイタカアワダチソウ——毒は使いすぎに御用心 229

ミゾソバ——自分に似た子を手もとに置く深い理由 234

ガマ——カマボコとふとんの共通点とは 239

ヨシ——決して悪くは考えない 243

エピローグ 向上心のない生命はない 247

文庫版あとがき 250

解説 たくましく生きよ！ 雑草たち

（ただしうちの庭以外で）

宮田珠己 253

参考文献